

# 今後の行事予定

- 6月2日(水)ニコニコ法話会 午後1時半より
- 7月2日(金)ニコニコ法話会 午後1時半より  
(法話会への参加費は必要ありません)
- 8月15日(日)・16日(月)お盆法要  
(詳細は、次回の法徳寺だよりに掲載します)

## 法徳寺仏教壮年会野外研修



富士霊園にて



沼津御用邸にて



柿田川公園にて



柿田川公園にて

4月14日、法徳寺仏教壮年会の野外研修を致しました。

# 降誕会・永代経法要

平成22年5月2日(日)  
午後1時半～2時半頃

わたしたちの浄土真宗の宗祖である、親鸞聖人の、お誕生を祝う降誕会法要と、永代経法要を合同で行います。  
当日は、お宅様の読み上げと、法話がございます。  
法話講師は、法徳寺副住職、伊東英幸です。

### 《法要に持参する物》

- 過去帳・位牌
- 読み上げ用紙 お念珠
- お経の本(お持ちの方)

# 法徳寺だより

第95号 発行  
浄土真宗本願寺派  
法徳寺  
厚木市岡田5-4-12  
TEL 046-228-3962  
住職 伊東英俊  
法話 伊東英幸  
編集 伊東祐子

## 大阪に行って来ました



副住職 有名な道頓堀にて

人は、腹をくり一五七〇年、石山本願寺と織田信長との戦いが始まります。

一五八〇年、10年にも及んだ戦いは、朝廷の仲介により、顕如上人が和睦を受け入れる形で終結するようになされた。しかし、顕如上人は、紀伊へ隠居を決意しますが、これに異を唱え徹底抗戦を主張したのが、顕如上人の長男で、教如上人です。信者の分裂の拡大を恐れた顕如上人は、長男を義絶してしまいました。信長の徹底抗戦を唱えていた教如上人でしたが、四ヵ月後には、本願寺を明け渡すことになりました。一五八二年、信長が、本能寺の変で亡くなります。その後、豊臣秀吉が天下を統一しますが、顕如上人と秀吉は、友好関係にあり、一五九一年、秀吉は、現在の京都堀川通りに、寺地を寄進しました。そして、本願寺を継いだのが、義絶された教如上人でしたが、一年もたたずして、弟秀吉によって、門主を下ろされてしまい、弟の准如上人が継ぐことになりました。引退した教如上人でしたが、上人を支持する門弟も多く、やがて、秀吉の没後、天下を統一した徳川家康は、京都烏丸通りの寺地を、教如上人に寄進しました。

石山本願寺は蓮如上人(本願寺8世、一四一五～一四九九年)により建立されました。其の当時、蓮如上人の布教により、浄土真宗の信者は爆発的に増え、本願寺の勢力は、大変なものでした。浄土真宗の信者がおこした一向一揆も盛んで、中でも、一四八八年におこった、加賀の一向一揆は有名です。そんな時代、顕如上人(本願寺10世)は、一五四三年、石山本願寺でお生まれになりました。

一向一揆に対し、天下統一の野望に燃える織田信長が、黙っているはずはなく、案の定、「石山本願寺を明け渡せ」と要求し、顕如上

当山法徳寺は、蓮如上人がご在世の時代に建立されました。現在、西本願寺派ですが、推測ですが、東本願寺派に属していた時代もあったと思われます。

# 法話



昔、あるおじいちゃんの七回忌法要がありました。法要の後、墓前でお墓参りをする際、喪主であるおばあちゃんが、隅の方にいらっしやるので、みんなで

「おばあちゃん、こちらに来て下さい」と申しますと、「いや私はここでいいんだよ」と言われますので、私が、「おばあちゃん、そんなことを言わずに、次に入るのには、おばあちゃんだから、こちらにいらして下さい」と申したのです。

私は、みんなが笑ってくれると思ったのですが、お参りの方は「しゅん」としてしまつて、しかも、長女さんに「副住職、そんな嫌なこと言わないで下さいよ！」と強い口調で言われてしまいました。私、申しました「嫌なことじゃないですよ、順番通り、次におばあちゃんが入るのが、皆さんにとつて一番幸せなことじゃないですか。それとも、あなたが次、入りませんか？と申しますと、とんでもない、まだ入りたくありません。やはり、おばあちゃんが先の方が」と申しまして、お互い笑つたのです。

お浄土は、極楽と言いますので、とても良い処だそうです。皆様、早く行ってみたいと思いませんか？「今夜あたり？」

「冗談じゃない！」ですよ(笑)でも、いつ何度、お浄土へ行かなければならなくなるかわかりません。人生の卒業の順番は、追い越し禁止ならいいのですが、そうはいきません。これが、人生の真実

ですから、不幸なことではなく、自然なことです。

必ず別れねばならないからこそ、今、愛する方と一緒にいられることが、二倍も三倍も大切に思えてくるのです。そして、亡き方は、私たちがやがて行かねばならない、浄土への道案内をして下さるので

人は、二度死ぬといひます。一度目は、この世とお別れする時、二度目は、誰も、故人を思い出さなくなった時であります。

皆様、生きていくかぎり、亡き方を想いつけてあげてください。そして、仏様の世界で出会つたら、また一緒に笑つたり、泣いたり、懐かしい思い出を語り合つて下さい、また、浄土へ生まれた時、よく頑張つた、世のため人のために尽くしてくれたと、ほめてもらつような生き方をしたいですね。次のような言葉を、新聞記事で見つけました。

「お金も失うことは、小さく失うこと信用を失うことは、大きく失うことやる気を失うことは、すべてを失うこと」

この前、何気なく、テレビを見ていたら、街頭インタビューで、高校生が、先生から、教えて頂いた、心に残る言葉について答えていました。

「人間は、この世に生まれてくるとき、周りは、みんな笑つて迎えてくれる、しかし、自分は、泣いて生まれてくるのです。この世を卒業するときは、自分は、笑つて周りは、泣いてくれるような生き

方をしてください。」私は、とてもいい言葉だと思いました。

皆様は、人生の締めくくりをどんな風にしたいですか？「死んだらおしまいだ、地獄も極楽もない」と思うのも自由です。でも、本当にそれでいいのでしょうか。ある僧侶の方が、お父様との別れの時のお話です。

臨終の近い夫に対し、母が聞いたそうです。

「父さん、行く先はどうかいね」「案じてくれるなや、お浄土へ参らせてもらうでな」

「嬉しいな」と母が言った。あの落ち着いた父の声、嬉しそうな母の横顔。

何も分からない自分に対し、両親が仏法の大切さを教えてくれた、それが、私の心の落ち着き場になつていと語られていました。安心していのち終わつていけるといふことは、安心して生きていけるといふことです。

ある本に出ていたのは、「日本青少年研究所」というところで高校生を調査した結果「私は価値ある人間」と答えた生徒さんは、38%に過ぎなかつたそうです。アメリカの高校生は89%、中国は96%。62%の日本の子供が「自分はダメな人間だ。価値のない人間だと思つていっている」といふのです。

「なぜ、いのちを大切にしなければいけないのか？」と子供さん、お孫さんに尋ねられたら、どうお答えになりますか？自分のいのちなのだから、自分の勝手にしていいのではないかと問われたら、ど

うお答えになりますか？

仏教の教えでは、私のいのちは、私の所有物ではありません。いのちは、お金を出して、買ったわけでもないのです。

上から下まで全部、ただで頂いたのです。しかも、私たちは、自分の意思で生まれてきたわけではありません。そして、いつ、いのち終わるのかも分かりません。心臓も肺も血液も自分の意思に関係なく動いています。もし、自分の所有物ならば自分の自由に出来るはずです。

私たちのいのちは、阿弥陀如来さまからの預かり物です。阿弥陀さまから預かっているいのち、価値のない人間などないのです。いのちは、しばらく、自分が預かっているもので、私の所有物ではありません。預かり物ですから、大切にしなければなりません。そして、いつかは、このいのちをお返ししなければなりません。ですから、仏様は、どんな者でも、安心して生き、安心して眼を閉じられるようにしてあげたいとの願いをもたれています。

人間は、常に考えなくてはならないのは、死を免れようとするのではなく、生きられるだけの時間を、どうしたら、最もよく生きられるかということなのです。大切なのは、単に生きるといふのではなく、よりよく生きることなのです。

そして、どうしたら、仏様が喜んで下さるのかを、常に考えて生きることが大切であります。

(法話 法徳寺副住職 伊東英幸)